

アフガニスタン人道危機と支援

～農業、民間セクター、経済

2022年10月12日(水) 20:00～21:40

2021年8月に旧政権が崩壊、タリバンが全土を掌握した後、制裁によって数百万人のアフガンの人々が飢餓状態に陥る中、日本と国連による今後の支援のあり方について議論します。

今もカブールに残り人道支援に奮闘されている、ナディア・ナイーム・カブール平和研究所長や国連の幹部などと共に、アフガンの自立と安定に向けて、何が必要か議論します。

冒頭挨拶 佐久間 勤 上智学院理事長

発表 及び 質疑応答

◇発表者

ナディア・ナイーム カブール平和研究所代表

リチャード・トレンチャード 国連食糧農業機関 (FAO) アフガン現地代表

山本 忠通 元アフガニスタン担当国連事務総長特別代表

アフガニスタン副財務大臣 (交渉中)

◇コメンテーター

サリ・アガスティン 上智大学 総合グローバル学部教授 上智学院総務担当理事

◇企画・司会

東 大作 上智大学グローバル教育センター教授



佐久間 勤



ナディア・ナイーム



山本 忠通



サリ・アガスティン



東 大作



🔍 無料・要事前登録

- 登録されたメールアドレス宛にアクセス情報を送付いたします。
- 視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。
- 登壇者は予告なく変更される場合があります。

オンライン開催 (Zoom)
英語のみ (通訳なし)

主催：上智大学国際関係研究所 共催：カブール平和研究所、上智大学人間の安全保障研究所、上智大学グローバル教育センター

お問合せ：un-weeks-co@sophia.ac.jp